

第 1 章 審査書等を総合的に検討して
準備書の内容を変更した事項

第1章 審査書等を総合的に検討して準備書の内容を変更した事項

平成30年8月に提出した環境影響評価準備書（以下「準備書」といいます。）に対する意見書、審査書等を総合的に検討し、準備書の内容を変更した主な事項は表1-1(1)～(4)に示すとおりです。

表 1-1(1) 準備書の内容を変更した主な事項（本編）

評価書の項目	準備書からの変更点	評価書での記載概要	評価書該当ページ
2.1 対象事業の概要	土壌汚染に係る調査・対策等に関する記述を更新	2018年(平成30年)12月に旧土地所有者から土地の引渡しを受けたこと、並びに土壌汚染に係る調査・対策に関する記述を更新しました。	p.2-1
2.3.1 対象事業の計画内容	計画諸元の一部更新	準備書時点以降の詳細な設計の進捗等に伴い、西側敷地の敷地面積、建築面積、延べ面積、容積対象面積を更新(減少)しました。	p.2-5
2.3.2 施設配置計画	施設名称の一部更新	準備書時点以降の詳細な設計の進捗等に伴い、施設名称を更新(西警備棟1～2、立哨棟、東警備棟)しました。	p.2-6
	施設配置図の一部更新	準備書時点以降の詳細な設計の進捗や関係機関協議等に伴い、施設配置図を更新(西側敷地北西角の敷地形状等を修正、準備書での立哨棟-1を西警備棟-1としてエントランスエリア横に移動、西警備棟の底形状を修正、駐輪場屋根取りやめ、東側敷地の車両出入口を3箇所から2箇所に変更)しました。	p.2-7
2.3.3 交通計画	東側敷地の車両出入口の数の変更	準備書時点以降の関係機関協議等に伴い、供用時における東側敷地の車両出入口を3箇所から2箇所に変更しました(本事業の供用時において、中央の車両出入口は通常使用しないこととし、建築用地(将来)に将来建設する施設の供用時に使用予定とします)。	p.2-13～14
2.3.4 駐車場計画	駐車台数の更新	準備書時点以降の詳細な設計の進捗等に伴い、西側敷地の駐車台数を更新(減少(10台減))しました。	p.2-12
2.3.12 雨水流出抑制施設等の計画	グリーンインフラの導入を追記	審査書を踏まえ、グリーンインフラ(雨水貯留浸透植栽基盤・レインガーデン・屋上緑化)の導入について、追記しました。	p.2-18
2.5 生物多様性の保全	コチドリの生息空間への配慮の修正	審査書を踏まえ、コチドリの生息空間への配慮について、より広い砂利敷き空間を設けるよう、見直しました。	p.2-23
2.6 緑の保全と創造	緑化面積等の更新	準備書時点以降の詳細な設計の進捗等に伴い、緑化面積等を更新(緑化面積値の増加)しました。	p.2-24
	緑道内のイメージ図について、内部空間に拡大した図に修正	緑道内のイメージ図について、緑道内側のイメージを伝えることを主眼に、より内部空間に拡大した図に修正しました。	p.2-25

表 1-1(2) 準備書の内容を変更した主な事項（本編）

評価書の項目	準備書からの変更点	評価書での記載概要	評価書該当ページ
2.8.2 環境配慮の検討経緯	配棟計画等に関する具体的内容を追記	審査書を踏まえ、配棟計画等（配棟計画・東西敷地・建物高さ・圧迫感への配慮等）に関する具体的内容を追記しました。	p.2-32～36
5.2 環境影響評価項目の選定	土壌汚染に係る調査・対策等に関する記述を更新	2018年(平成30年)12月に旧土地所有者から土地の引渡しを受けたこと、並びに土壌汚染に係る調査・対策に関する記述を更新しました。	p.5-4
6.2 生物多様性 (動物、植物、生態系)	環境の保全のための措置の修正	審査書を踏まえ、コチドリの生息空間への配慮について、より広い砂利敷き空間を設けるよう、見直しました。	p.6.2-2, 4, 91, 115～117
	河川区域内の仮設工事の概略イメージ図の修正	河川区域内の仮設工事について検討を進め、動力橋の撤去に伴う仮設構台範囲を縮小するなど、概略イメージ図を見直しました。	p.6.2-88
6.4 大気質	西側敷地西側の地点Aにおける車両の走行に伴う大気質・騒音・振動の予測結果等を追加	準備書に関する説明会での意見を踏まえ、西側敷地西側の地点A（市道戸塚第345号線）における工事用車両及び関係車両の走行に伴う大気質・騒音レベル・振動レベルの予測結果等を追加しました。	p.6.4-2, 3, 43, 46, 49, 51～53, 60～62, 64～65, 68～69
6.5 騒音			p.6.5-2, 20, 24, 27～29, 37～39
6.6 振動			p.6.6-1, 2, 7, 19, 22, 25～30, 32
6.8 日影（日照阻害）	河川区域（柏尾川）が日影規制対象外であることに伴う表現修正	関係機関との協議の結果、横浜市建築基準条例に基づき、日影規制は「道路、水面、線路敷その他これらに類するものの区域（建築物の敷地を除く）は、対象区域から除く」とされていることから、その旨を追記し、河川区域（柏尾川）が日影規制対象外であることに伴い、日影規制の適合確認についても表現を修正しました。	p.6.8-6, 8, 18
6.9 安全 (火災・爆発、有害物漏洩、実験動物の逸走)	化学薬品を使用する実験管理体制と保管管理体制の機構図の追加等	審査書を踏まえ、化学薬品を使用する実験管理体制と保管管理体制の機構図の追加及び関連文章の追記・修正とともに、他の実験に関する文章等も追記・修正しました。また、教育・研修に関する全般的な体制等についても追記しました。	p.6.9-34～38,41
	災害や事故等の非常時における近隣住民への必要な情報提供について検討する旨を追記	審査書を踏まえ、環境の保全のための措置に、災害や事故等の非常時における近隣住民への必要な情報提供について、今後戸塚区と協議の上、連絡体制を構築することを検討する旨を追記しました。	p.6.9-1, 50

表 1-1(3) 準備書の内容を変更した主な事項（本編）

評価書の項目	準備書からの変更点	評価書での記載概要	評価書 該当ページ
6.11 景観	主要な眺望地点のうち特に近傍の地点について、焦点距離 35mm 相当の画角の写真及びフォトモンタージュに修正	審査書を踏まえ、主要な眺望地点のうち特に近傍の地点(地点 12～17)について、焦点距離 35mm 相当の画角の写真及びフォトモンタージュに修正しました。	p.6.11-5,28～33
	環境の保全のための措置に具体的な図等を追加するとともに、予測・評価に圧迫感低減の観点を追記	環境の保全のための措置に、周辺景観との調和や圧迫感の低減を図るための配慮を示した具体的な図等を追加するとともに、予測・評価の文章に、圧迫感低減の観点を追記しました。	p.6.11-1,34～41
	緑道内のイメージ図について、内部空間に拡大した図に修正	緑道内のイメージ図について、緑道内側のイメージを伝えることを主眼に、より内部空間に拡大した図に修正しました。	p.6.11-39
8.3 事後調査の内容	大気質（工事中・供用時）の調査方法の修正	工事中及び供用時における大気質の調査方法について、西側敷地で計画している公定法による調査（二酸化窒素・浮遊粒子状物質）を、東側敷地でも調査することとし、充実化を図りました。	p.8-4, 5
	生物多様性（供用時）の調査頻度の修正	供用時における生物多様性の調査頻度を 4 季とし、充実化を図りました。	p.8-5

表 1-1(4) 準備書の内容を変更した主な事項（資料編）

評価書の項目	準備書からの変更点	評価書での記載概要	評価書該当ページ
1.2 交通計画	工事用車両走行台数を更新	工事用車両走行台数について、準備書時点以降の施工計画の検討に伴い、工事開始累積月1ヶ月目の台数を変更しました（予測対象としたピーク月含め、他の月は変更なし）。	p.資 1.2-2
	東側敷地の車両出入口の数の変更	準備書時点以降の関係機関協議等に伴い、供用時における東側敷地の車両出入口を3箇所から2箇所に変更しました（本事業の供用時において、中央の車両出入口は通常使用しないこととし、建築用地(将来)に将来建設する施設の供用時に使用予定とします）。	p.資 1.2-12, 21
2.1 対象事業実施区域内の形質変更時要届出区域	対象事業実施区域内の形質変更時要届出区域の情報を更新	対象事業実施区域内の形質変更時要届出区域の情報を更新しました。	p.資 2.1-1～3
3.2 大気質	西側敷地西側の地点Aにおける車両の走行に伴う大気質・騒音・振動の予測結果等を追加	西側敷地西側の地点A（市道戸塚第345号線）における、工事中の工事用車両及び供用時の関係車両の走行台数を追記しました。	p.資 3.2-37, 41
3.3 騒音		西側敷地西側の地点A（市道戸塚第345号線）における工事用車両及び関係車両の走行に伴う騒音レベルの予測結果等を追記しました。	p.資 3.3-15, 31, 35
3.4 振動		西側敷地西側の地点A（市道戸塚第345号線）における工事用車両及び関係車両の走行に伴う振動レベルの予測結果等を追記しました。	p.資 3.4-14, 19, 26, 33
3.7 景観	資料編に景観の章を追加	審査書を踏まえ、景観モニタージュ（焦点距離35mm相当の画角で四つ切りサイズ等）や緑道イメージ図を掲載しました。	p.資 3.7-1～37
4.2 浸水関連	内水氾濫シミュレーションの修正	審査書を踏まえ、西側敷地の北側に計画されている都市計画道路（横浜市による事業）の計画高さ見直しに伴い、条件を修正した内水氾濫シミュレーション結果を掲載しました。	p.資 4.2-1～2